

## 平成25年度 事業実施報告書

（事業報告書の順に記載）

情報部会

---

自然観察部会

---

エコライフ推進部会

---

里山保全部会

---

再生可能エネルギー部会

---

その他の活動

---

学習センター事業部

---



雪化粧をした宇都宮市環境学習センター（平成26年2月4日）

## 情報部会

### 1) ホームページの公開 (<http://www.u-net2004.com/center/>) とメルマガの発信

ホームページへのアクセス件数は4,370件(25年度)とやや低調でした。内容の充実度は必ずしも十分ではなく、情報の質と発信頻度を向上すべく引き続き努力してまいります。一方、11月からメルマガの発信を再開、タイムリーな情報発信に努めました。(12件発信)

### 2) 会報誌 (Eco together) の発行



年間4回、6・9・12・3月末に37~40号を発行しました。いただいた意見等をふまえ、情報掲載方法など改善を加えながら進めました。特に写真を多用し親しみやすい構成に心掛けました。また、会員以外の方が会報を手にした際、この組織について知るきっかけとなる情報を載せるようにしました。今後も親しまれ機能する会報を目指し、改善を進めていきます。

### 3) 環境イベントへの参画

#### ① もったいないフェア2013 9月29日(日)

宇都宮城址公園(本丸町) 10:00~15:00  
全体来場者数 27,000人(ブース来場者数約600人)  
スタッフ6人

再生可能エネルギー部会の研究成果発表と自然に親しむ体験教室としてどんぐり工作を行いました。来場者が途切れることなくスタッフも昼食がとれない程でした。

- ・フォーラム活動紹介
- ・県内の再生可能エネルギー普及状況をパネル展示(釜川マイクロ水力発電の試作品を展示)
- ・どんぐり工作: たくさんのどんぐりを準備できました。
- ・環境学習センター活動紹介、チラシ配布等



大人気のどんぐり工作

#### ② エコ・もりフェア2013 10月5日(土)

子ども総合科学館(西川田町) 9:30~16:00 スタッフ3人  
全体来場者数 3,000人(ブース来場者数約200人)

「地球温暖化」をテーマに再生可能エネルギー部会の研究成果発表と牛乳パックを利用したブーメラン工作を実施しました。今年から開催日数が1日だけになったことと当日雨模様であったので、来場者は少なかった。

- ・フォーラム活動紹介(パネル展示)
- ・地球温暖化パネル展示
- ・県内の再生可能エネルギー普及状況をパネル展示
- ・ブーメラン工作



牛乳パックを利用したブーメラン工作



## 情報部会（つづき）

### ③ エコテック&ライフとちぎ2013 11月30日（土） ～12月1日（日）

マロニエプラザ（元今泉） 10:00～15:00  
全体来場者数 3,590人（ブース来場者数約260人）  
県内最大のエコの祭典とも言われるこのイベントは「エコ体験を、もちかえろう」をテーマに、多彩な内容で開催されました。フォーラムの紹介、環境学習センターの紹介、そして体験教室として不用になった布をつかった「シュシュ」の制作を行いました。



みんなで制作した「シュシュ」

### ④ 環境学習センターエコまつり2014 2月28日（金）～3月2日（日） 宇都宮市環境学習センター（茂原町） 10:00～16:00（最終日 15:00）来場者 2,213人

フォーラムが運営する環境学習センターの最大イベント「エコまつり2014」を開催しました。雨模様の中での開催となりましたが、昨年を上回る来場者があり、大いに楽しんでいただきました。アンケート結果をみると「満足+まあ満足」が98%あり、高い評価を得ることができました。今年のテーマは「身近にあるもったいないを発見しよう」で、生活を見直すきっかけにいただきました。自主グループ運営による体験教室は大人気、さらに地元の環境団体や、婦人会、こぶし作業所など多くの支援をいただき記憶に残るイベントとなりました。



雨模様の中、売店も頑張ってる



ミヤリーも応援に駆けつける



雀宮東小の金管バンドは大人気

## 4) 業界誌に情報発信

全国都市清掃会議の業界誌「都市清掃」に投稿しました。テーマは「環境学習センター受託6年の歩み ～NPOが運営するメリットを活かして～（6,600字）」で、フォーラムの活動紹介、環境学習センターの運営改善実績などを掲載しました。この雑誌を見て、福岡から取材があるなどいくつかの反応がでています。これからも、機会を捉えて情報発信をしていきたいと思えます。



## 自然観察部会（野鳥観察・星空観察）

### ① 春の野鳥観察会 5月11日（土）

鬼怒川河川敷（上桑島町）緑地運動公園 9:00～12:00  
スタッフ5人 参加者15人  
風もなく穏やかな春の一日、水面を優雅に飛ぶコアジサシ、コバルトブルーが美しいカワセミも見ることができました。



観察風景（昨年写真）

### ② 冬の野鳥観察会 12月14日（土）

鬼怒川河川敷（上桑島町）緑地運動公園 9:00～12:00  
スタッフ5人 参加者15人  
雲ひとつない青空、風が少し吹く寒いなかでの観察会、ゆっくりと歩きながら21種類の野鳥を観察できました。  
カワウ80羽の群れが私たちを歓迎してくれたり、とびとノスリの空中戦も見せてもらいました。



カワウの群れが歓迎

### ③ 星空観察会 2月8日（土）〈雪のため中止〉

環境学習センター 18:00～20:00  
参加者57人（計画）  
冬の大三角や木星を観察する星空観察会は、大変な人気で定員の枠を超えて受け付け計画をしていました。  
ところが当日、大雪に見舞われ来館することも難しい状況でしたので、残念ながら中止とさせていただきます。



冬の星座についての解説（昨年写真）

### ④ 環境学習センター支援事業

#### ④-1 天体望遠鏡づくり講座 7月21日（日）

環境学習センター 9:30～11:30 / 13:30～15:30  
スタッフ6人 受講者合計82人  
親子対象の環境学習講座を支援。午前・午後の各回で定員を超える方々からの申し込みを頂き、宇宙や星、自然について関心を持っていただくきっかけとなる講座が実施できました。



おとうさん、ちょっと持ってて！

#### ④-2 冬の星空観察会 12月14日（土）

環境学習センター 18:00～20:00  
スタッフ7人 受講者55人  
受講者は、普段はなかなか見ることのできない大きな天体望遠鏡で星の観察を楽しんだ。流星群の接近が話題になっていたため、定員を上回る多くの申し込みをいただいた。  
初めての試みとして、芝生にグランドシートを張って、寝転んで星を見る方法もとり、子どもたちに人気がありました。



寝転ぶと、よ～く見えるね。

参加者合計 約190人



各主体をつなぐ多様な環境学習の場及び機会の創出に係る事業  
エコライフ推進部会

① 「エコライフ推進部会」環境学習センター支援事業

- ①-1 宮染め体験 7月12日(金) 9:30~12:00 19人  
市内にある中川染工場の見学と手ぬぐいの宮染め体験を行いました。街中にこのような工場が残っていることに驚くとともに、伝統を守る大切さを感じていただきました。



宮染め体験 手ぬぐいを染めました

- ①-2 オドロキの農業勉強会 9月7日(土) 9:00~16:00 36人  
農薬を使用しない有機農法の現状はどうなっているのか。課題は何かを現場で学ぶバスでいく見学会を開催しました。とても高い評価をいただきました。

- (1) 宇都宮大学附属農場(真岡市) 無農薬農法の課題  
(2) 館野農園(野木町) 無農薬農法を実践する農家



宇大附属農場 無農薬農法の課題は・・・



館野農園 農薬を使っていないのに雑草がない

- ①-3 バスで行く真岡・益子9月19日(木) 9:00~16:00 34人  
日本の伝統、真岡木綿と藍染の歴史を学びました。  
(1) 真岡木綿会館(真岡市) 歴史と機織り体験  
(2) 日下田藍染工房(益子) 工房と綿畑の見学

〔 真岡木綿会館 〕

〔 日下田藍染工房 〕



藍染の手法を聞く



木綿の歴史を聞く



綿畑を見学



機織りを体験

参加者合計 約90人

## 里山保全部会

### ① 里山環境の保全

本プロジェクトで実施すること

1. 雑木林の清掃（ごみ等の除去）
2. 雑木林の笹や倒木の整理
3. 雑木林の下草刈りと落ち葉さらい

本プロジェクトにより得られるもの

1. きれいになってゆく雑木林の景観
2. 枯れ木の中や落ち葉の下に棲む虫の観察
3. カブトムシやクワガタの発生（1年後）
4. ~~きのこの発生やシイタケの栽培（将来）~~
5. 春植物の復活（将来）
6. 望ましい姿で存在する雑木林の拡大



<継続活動中 毎月第3日曜日 9:00~12:00 頃>  
実績を別添資料に示す

(延べ37人)

### ② 環境学習・環境教育の場の提供

#### ②-1 環境学習センター支援事業

<プログラム内容>

##### 「カエルの調査」

9月22日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地他 6人 参加者24人（親子）

カエルがどこに、どのような種類や数が生息しているかを調べることを通じて、自然を身近に知り、環境を考えるキッカケとする。県立博物館の林先生にご指導いただいた。



カエルの特徴を聞く

##### 「落ち葉さらいと焼きいも」

12月15日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地 スタッフ10人 参加者30人（親子）

落ち葉を集め飛ばないように踏み固め、落ち葉の山にジャンプ！自然の中で大いに楽しみました。最後は、みんなで焼きいもを焼いて食べました。



落ち葉の山を踏み固め

##### 「冬の野鳥観察」

1月5日（日）9:00~12:00

みずほの里山保全地周辺 スタッフ5人 参加者26人（親子）

野鳥の会指導員山崎さんに解説をいただきながら、保全地周辺を歩きました。確認できた野鳥は35種、町の中の里山にも、こんなに多くの野鳥が生息しているのに驚きました。



保全林の中で野鳥観察

#### ②-2 瑞穂台小学校体験学習を受ける（地域支援活動）

10月11日（金）9:00~11:00

みずほの里山保全地他スタッフ3人 参加者23人（1~6年生）

小学校総合学習の「里山体験」コースを企画、受け入れた。里山にある珍しいものを観察するとともに、どんぐり工作と丸太切りを体験した。地域貢献活動の一つで、後日、お礼の手紙をいただいた。



保全地の中でどんぐり工作

参加者合計 約170人

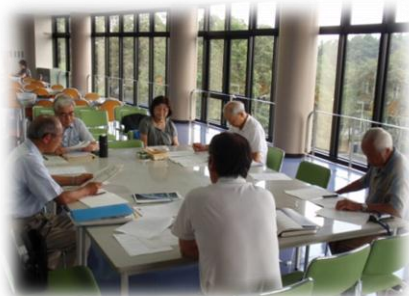


## 再生可能エネルギー部会

### ① 部会活動活発に

栃木県における「再生可能エネルギー」に注目し、その確実な進展に向けて、市民とともに学び・発信していこうと、平成24年度部会が設立されました。25年度の部会回数は17回で、毎月1回を上回るペースで精力的に活動を進め、県内の再生可能エネルギーの実態調査を終えました。調査結果はパネルにまとめられ、環境学習センターに常設展示されています。また、環境学習センターで開催された「エコまつり」ではブースを出展し部員が市民に積極的に情報発信しました。

平成25年4月13日(土)	2人	住宅展示場・家電販売店調査(超断熱ハウス、ソーラーハウスなど)
4月20日(土)	7人	24年度成果物のまとめ方確認。外部調査結果の整理。
5月10日(金)	4人	調査資料の整理。
5月11日(土)	7人	25年度活動計画の検討。県小水力発電見学会の調査。
6月22日(土)	8人	藤井産業(株)取締役を招きメガソーラー導入の講義を受ける。
7月20日(土)	7人	体制と担当分野を確認(部会長:菊地、副部会長:室井)
7月27日(土)	5人	県主催の小水力発電所施設見学会に参加
8月24日(土)	5人	見学会の課題整理。部会が企画運営する秋の見学会を論議。
9月28日(土)	6人	上期の活動を総括、今後の重点課題を整理。
11月23日(土)	5人	各部員から担当分野の調査結果を発表。市の環境基本計画も評価。
12月21日(土)	4人	今後の調査要領を確認。
平成26年1月25日(土)	4人	県内のメガソーラー実績を評価。
1月20日(月)	4人	東京電力栃木支店に調査。県内の太陽光発電の導入実績など。
2月4日(火)	2人	栃木県環境審議会地球温暖化、エネルギー部会を傍聴。
2月15日(土)	5人	エコまつり準備
2月28日(金)~3月2日(日)	6人	エコまつり部会ブースのアテンド。
3月22日(土)	4人	太陽光発電したときに実費用調査。(延べ85人)



部会風景



藤井産業を招いての講義



エコまつりにブース出展

### ② 環境学習センター支援事業

バスで行く県内の再生可能エネルギー施設見学会を2回企画運営しました。

②-1 住友大阪セメント(バイオマス発電)・足利工業大学(世界の風力発電)・足利市役所(足利市民総発電所構想) 10月12日(土) 9:00~16:00 49人参加

②-2 鹿沼ソーラーファーム(太陽光)・宇都宮市イッパパーク住宅展示場(超断熱・大規模太陽光) 11月30日(土) 9:00~15:45 37人参加



住友大阪セメント(1回目)



鹿沼ソーラーファーム(2回目)

参加者合計 約170人

## その他の活動

### ① 足尾植樹体験（環境学習センター支援事業）

7月27日（土）9:00～15:30 親子 37人

荒廃裸地化した足尾の環境を再生する人々の活動を、体験を通して知ることを目的に、親子で参加するバスツアーを企画運営しました。



植樹を終えて



記念看板

### ① 天日干し（地域活動支援事業）

地元さつきまちづくり企画委員会と共催で、農家の畑をお借りしておいし～いお米をつくりました。

9月15日（日）稲刈りと天日干し（大雨のため中止となりました）

10月13日（日）収穫祭（新米食べ比べ、いも掘り、焼きいも、脱穀体験など）

親子 70人



みんなでも掘り



耕運機を体験しました



新米の食べ比べ



収穫祭を終えて集合写真

参加者合計 約110人



## 学習センター事業部

### 平成25年度も年間利用者3万人を達成

指定管理者3年目（最終年度）の25年度も昨年同様に年間3万人を達成しました。しかし、天候不順もあり一般来館者が減少し、昨年を上まわることはできませんでした。

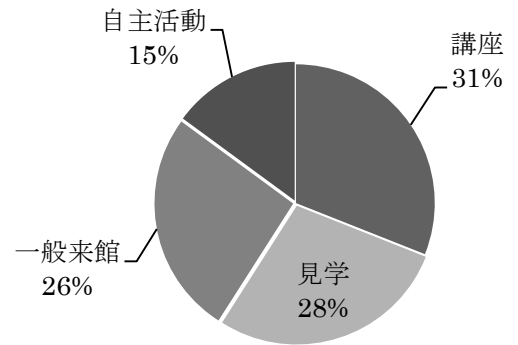
### 累計利用者34万人に

平成13年開設以来、13年が経過しましたが、累計利用者は336千人までになりました。

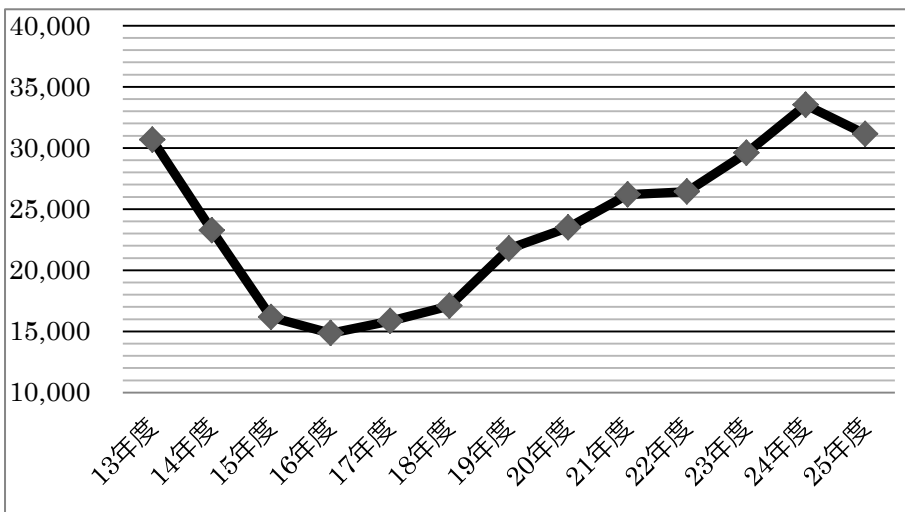
### 第2期指定管理者へ移行

平成26年度から、第2期の指定管理者期間に入ります。契約期間は平成30年度までの5年間です。今後は利用者層の拡大と事業の質に向上に努めてまいります。

### 25年度利用者分布



年間利用者数 31,134 人



「エコまつり」にミヤリーも応援にきてくれました。

### ① 環境学習機会提供機能

講座内容の充実により参加者が増加しています。

□人気の環境大学（前期・後期 各5回シリーズ）には、登録人数が120人を超えています。

#### 前期講座「気象と環境」



世界最大規模の

電力技術研究所・塩原実験場で大きな雷実験を体験



#### 後期講座「にっぽんのものづくり」



自走するつくばチャレンジロボット

□南図書館ホールを利用した環境映画会も人気で、多くの市民参加がありました。（3回実施）

8月「風の谷のナウシカ」親子向け 539人

10月「未来の食卓」一般向け 92人

2月「ロラックスおじさんの秘密の種」親子向け 639人

ロバスで行く県内の再生可能エネルギー施設見学会を開催（2回）

再生可能エネルギー部会が企画運営、事前の現地調査やバスの中での講義など中味の濃い見学会となりました。

10月 バイオマス発電・風力発電（佐野・足利）

11月メガソーラー・超断熱住宅（鹿沼・宇都宮）



住友大阪セメント（バイオマス発電）



鹿沼ソーラーファーム

## ② 活動支援機能

□講座卒業生で構成される自主グループは、9グループまで増え活動が活発化してきています。

「エコまつり」では、ワークショップを開催していただき、650人の市民の体験参加がありました。

## ③ 交流促進機能

□マイクロ水力発電装置を今年も設置

地元の宇都宮工業高校と連携し廃棄自転車を利用したマイクロ水力発電装置を製作し、釜川に設置しました。今年、まちづくり推進機構との連携事業に格上げし、水車の数を倍増、川辺を明るく照らしました。

- ・設置期間：12月～1月
- ・設置場所：釜川ロマンチックドーム上流の滝



12個の車輪が勢いよく回る

## ④ 情報提供機能

□体験型ゲームを3種開発、環境への理解を促進しました。

### ①ごみ体感ゲーム

1ヶ月にどれくらいのごみを出しているかを現物展示しました。もえるごみに資源が混じっています。

- ②暖冷たべものゲーム
- ③観天望気かるた



もえるごみ1ヶ月分「重てえ・・・」

## ⑤ 体質強化機能

□見学通路の安全パトロールを実施

見学者の安全を確保するため、徹底した見学通路の安全パトロールを実施しました。

### 【パトロール結果】

- 指定事項 42項目
- 対策事項 31項目



階段の始まりが分かるようマークをつけました